

「パーソナライズド新聞」自動生成システムの開発
マルチメディアを利用した身近な話題の電子新聞を作成・視聴可能に

株式会社 KDDI 研究所（本社：埼玉県ふじみ野市、代表取締役所長：秋葉重幸）は、自分に身近な話題を中心に役立つ情報を収集し、一覧性の高い新聞形式で簡単にまとめることができるマルチメディア表示技術の開発に成功しました。これにより、自分向けにカスタマイズされた新聞を利用して、必要な情報や個人で楽しめる記事をタブレット端末等で簡単に読むことが可能になります。

個人作成の情報流通が拡大するにつれ、ブログや Twitter などの利用が急速に進んでいますが、これまではそれらのインターネット上の情報を入手・閲覧するためには、個別に自分で情報を集め、整理する必要がありました。このように自分に必要な情報を揃えて、見るためには多くの時間を要していました。

それに対して、今回、自分が興味を持つ新着ニュースやブログなどの近況情報を自動的に収集・解析し、合わせて個人のコミュニケーション履歴・閲覧履歴などに基づいて、最適な情報を選別する技術を開発しました。選別された情報を利用して、自分に最適なレイアウトで新聞を自動で生成することが可能です。これにより、自分がよく見るブログやニュース記事などを一覧性の高い新聞形式でまとめて読むことが可能になります。

さらに、携帯電話やスマートフォンで撮影した写真をもとに近況報告を作成し、家族や友人などに向けて新聞記事として発信するといった情報提供の手順も簡単に行えるようにしました。生成された新聞はタブレット端末などに配信され、簡単な操作によってインタラクションも可能なため、情報の送信者と受信者との間のコミュニケーションを大幅に活発にすることができます。

具体的な利用シーンとしては、子供の成長を写真撮影し、新聞形式で遠隔地の祖父母や単身赴任の父に近況報告を発信することができ、新たなコミュニケーションメディアとして利用できます。さらに、遠隔地の祖父母や単身赴任の父も写真を撮影し、コメントを投稿することで、そうした家族や親せきなどのコミュニティの中でそれぞれの記事を掲載した共有型新聞としていくことが可能です。そのほかにも、日々の利用として、個人が普段閲覧する新着ニュースや WEB の情報を選別・加工して、自分だけの情報収集メディアとして新聞を毎日閲覧することが可能になります。

今後は、本システムを携帯電話やスマートフォン、タブレット端末などに対応した上で

実用化を目指します。また、写真だけではなく、動画などのマルチメディアコンテンツへの対応を予定しています。また、この試作システムを2010年10月5日～10月9日に開催される CEATEC JAPAN に出展する予定です。

本件に関するお問合せ先
株式会社 K D D I 研究所 営業企画グループ
TEL: 049-278-7545
E-mail: inquiry@kddilabs.jp

【補足資料】

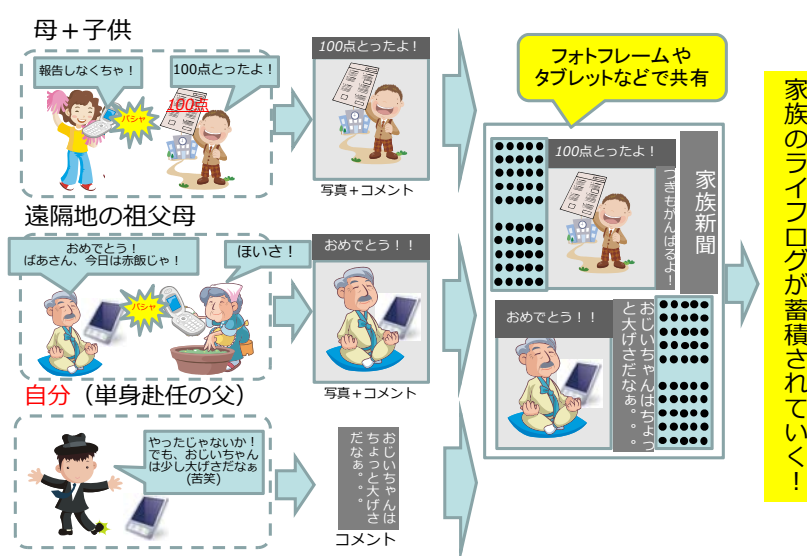


図 1、家族向けコミュニケーションメディアとしての利用イメージ

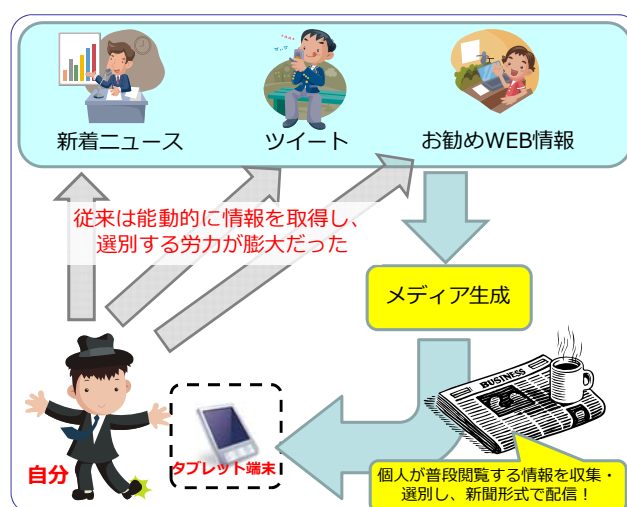


図 2. 自分向けの情報収集メディアとしての利用イメージ

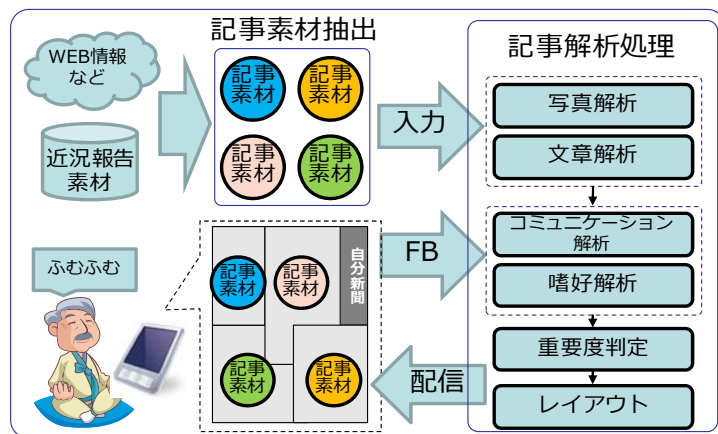


図 3. 動作の仕組み

図 4. 自分向け新聞サンプル